

福山市立	福相小	学校
------	-----	----

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）				最終評価（2月末）			
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期（中期）経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価
2	学びのよさを感じ、主体的に学ぶ児童の育成	★	見直し	主体的な学びにつながる授業づくりを通して、児童が自分の学びを見つめ、学びに向かう意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 調査で課題となっている単元を中心に授業研究を位置付ける 児童の思考が深まる学びの在り方に関する授業を公開し、互いに見合う単元終了後、一定の期間をおいて、高熟度を把握し、学習の定着に向けた指導を行う(ICTの活用やプリントの活用等) 	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」に関する質問7項目の平均 肯定的評価75%以上 「授業で考えることは面白い」 肯定的評価85%以上 「結論先行・理由をつけた話し方」 肯定的評価80%以上 								
5	自分に自信をもち、自他を尊重する心の育成	★	継続	道徳教育・芦田スタンダードの定着を通して、自己肯定感の向上と思いやりの心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 「考え・議論する道徳の授業」づくりを通じた道徳性の育成 学級や学校全体で友達の良いところを見つけ紹介する「いい子と発表」を行いお互いの良いところを認めあう。 芦田中学校区スタンダード「時間を守る、礼儀正しく、学校を楽しく」の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分にはよいところがある」 肯定的評価85%以上 芦田中学校区スタンダード（挨拶、服装、掃除） 達成率90%以上 								
1	健康な体づくり、体力づくりの推進		見直し	体を動かす楽しさを感じ、進んで体力づくりに取り組む意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 委員会や児童会が提案する児童主体の遊びやゲームを通して児童の運動能力とコミュニケーション力の向上を図る 体育館の活用方法を児童と協議し、活用できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 「1日1回以上運動をしている」 肯定的評価80%以上 「運動（遊びを含む）やスポーツをすることは好き」 肯定的評価80%以上 								
2	ふるさと芦田に愛着と誇りをもつ児童の育成		見直し	SDGs（国連持続可能な開発目標）を意識したE S D教育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材の活用や地域の教材化を図った教育課程を編成 SDGsの目標を意識した教科横断的な単元構成とカリキュラムマップの作成 2025年（令和7年）の世界ハラ会議に向けた単元を開発 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域での活動、地域の方との活動は楽しかった」 肯定的評価90%以上 SDGsの目標（福祉、エネルギー、まちづくり、作る責任・使う責任、平和など）を参考に、世界ハラ会議に向けた単元を開発 								
3	教職員の元気、段取り力、組織力の向上		継続	教職員の段取り力の向上と子ども向き合う時間を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> 目標の退校時刻を設定し、時間管理に関する意識改革 週や月を見通した行事や授業の準備を行い、教職員の段取り力の向上 職員どうしの連携を図り、組織力を向上 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務月45時間以内の教職員 100% 毎週1回以上の定時退校日を設け、実施できた教職員 95% 時間外勤務が年360時間以内の教職員 80% 								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。